

第4回秦荘町・愛知川町合併研究会会議録

日時：平成15年（2003年）3月26日（水）午後2時30分から午後3時36分まで

場所：秦荘町役場2階第1会議室

出席者

委員

秦荘町：北川眞道副会長、上田太治副会長、上林貞委員、林正司委員、中村忠夫委員、水野清文委員、宇野昌弘委員、廣田進委員、小泉勇一委員、高橋正夫委員、村西作雄委員、西川博司委員

愛知川町：平元真会長、森隆一副会長、久保田九右衛門委員、西川昌夫委員、辻野彰男委員、竹中秀夫委員、石部稔英委員、青木信吉委員、姓農明彦委員、福田俊男委員、細江新市委員

事務局：

秦荘町 西川博司総務課長（委員重複） 村木一夫議会議務局長、北川孝司総務課長補佐
愛知川町 細江新市総務課長（委員重複） 重森利尾議会議務局長、中村治史総務課行政係長

欠席者：藤田進委員

1. 開会あいさつ

西川課長 委員の皆様方には年度末大変お忙しいところご出席をいただきましてありがとうございます。ただいまから第4回の秦荘町・愛知川町合併研究会を始めさせていただきます。最初平元会長の方からご挨拶をいただきます。

平元会長 皆さんこんにちは。本日は、先程来もお話をいただいておりますとおり第4回の秦荘町・愛知川町合併研究会に年度末大変ご多用の中また、皆様方にはそれぞれ15年の第1回定例会を終わられまして年度末の整理あるいはまた新年度にむけていろいろとご多用の中をご出席いただいておりますことに重ねて御礼を申し上げたいと存じます。本日まで第3回の会議をさせていただいたわけですが、本日はそれに基づきまして、お手元にお配りさせていただいております議事次第に基づいていろいろとご審議いただきたいと、このように思っておるわけですが、どうかよろしく願い申し上げます。少し遅れてみえるようでございます。それと、秦荘

西川課長 ありがとうございます。本日の委員さんですが愛知川町の藤田委員さんが公務で出張をされております。少し遅れてみえるようでございます。それと、秦荘

町の中村委員さんも少し遅れるということですのでよろしく願いいたします。それでは、規約第6条に基づきまして、会長が会議の議長になるということですので、会長さん進行の方よろしく願いします。

2. 会議録署名委員の指名

3. 第12号議案 平成14年度秦荘町・愛知川町合併研究会補正予算(第2号)

平元議長 はい。それでは、2番目の本日の会議録署名委員の指名をさせいただきたいと思えます。本日の会議録署名委員さんには、秦荘町の水野委員さん、愛知川町の西川委員さんをお願いしたいと存じます。次に、議事でございますが第12号議案平成14年度秦荘町・愛知川町合併研究会補正予算(第2号)についてを議題と致したいと存じます。事務局の説明をお願いします。

西川課長 資料の2ページ3ページをお願いいたします。補正後の総額には変更ございませんが前回の研究会で広報の印刷等に委託料350,000円をご承認をいただいたところですが広報の見積もり入札につきまして両町が指名をしています9社に見積りを取りましたところ141,025円という安価でありました。県としてもこの補助金を割り当てているので、なんとかということでしたので、今回補助金をそのまま返さずということですので、消耗品、紙類、事務所の消耗品等に使うということで消耗品に変えまして支出をしていきたいというように思っております。208,000円を委託料から減額をいたしまして、逆に消耗品のほうに208,000円を増額するものでございます。よろしく願い致します。

平元議長 はい。ありがとうございます。ただ今説明を申し上げましたこれにつきましてご質疑等ございませんでしょうか。

全員 なし。

平元議長 質問がないようでございますので議案第12号平成14年度秦荘町・愛知川町合併研究会補正予算(第2号)については、原案どおり承認することにご異議ございませんか。

全員 異議なし。

平元議長 はい、ありがとうございます。ご異議なしと認めます。よって、平成14年度秦荘町・愛知川町合併研究会補正予算(第2号)につきましては、原案どおり決定することにいたします。続きまして本日の協議事項でございますが、合併研究会の今後の取り組み事項(案)につきまして、先般来いろいろご意見をいただいております案件につきまして、ご提案申し上げながらご協議いただきたいと思えます。それではまず、事務局のほうからご説明をお願いします。

4. 合併研究会の今後の取り組み事項

細江課長　みなさんたいへんご苦労さまでございます。それでは、4ページからでございますけれども当研究会の今後の取り組み事項案ということで提出をさせていただきました。前回におきましては、研修会をさせていただきまして、それから新年度以降は研究会でどのような活動、取り組みをしていくか、また、新年度の予算等にも反映していかなければならないというようなことをご意見をいただき、また、そのあと日をきらせていただきまして委員のみなさまがたから、何か取り組み事項について提案がございましたらというようなことをお願いをさせていただきました。また、委員の中からも、事務局の方から案を出してほしいというようなこと等がございまして、4ページに列記をさせていただきました11項目をあげさせていただいたところでございます。こちらのほうでいろんなことを考えさせていただいて、この提言の確認事項があるのではないかなというようなことであげております。説明をさせていただきましてまた、いろいろとこれ以外にもこのようなことがあるというようなことがございましたらご発言をいただきたいと思っております。まず、最初に広報活動でございますが、今年度研究会を設置をいたしまして、まだ、広報だよりが出てないわけですが、初回でございますので、なかなかスムーズに行っていないというのが現状でございます。新年度に入りましてから、10回程度の発行予定で考えさせていただいております。14年度第1回の研究会だよりというものが発行させていただきますのが、選挙後ぐらいになるのではないかな、4月下旬ぐらいになるであろうというようなことで、校正等を行っている状況でございます。それ以降月1回程度、だいたい計算しますと10回ぐらいの発行になるというようなことで、10回程度の発行に見合う予算を新年度で計上させていただきたいと考えております。それから2番目でございます。2番目に財政関係があがっております。まず、今日愛知川町の委員さんの方には秦荘町の総合計画を机の上に置いております。秦荘町の委員さんの方につきましては事前に愛知川町の総合計画をお配りさせております。また、お読みいただいて今後のまちづくり等の参考にさせていただきたいと思っております。2番目の2町の現状把握というようなことで、これも併せまして3番目の2町の財政シュミレーション向こう10年先程度というようなことで、これは愛知川町の辻野委員のほうから提案をいただいております。財産の状況あるいは10年先の2町の財政シュミレーションをというようなことで意見をいただいております。2番目にあげておりますのが2町の現状把握ということで財政の状況、財産状況それからもうひとつは、事務事業の現状と課題等というのがございます。この事務事業の現状と課題でありますけれども13年の1月に愛知郡合併等研究会が立ち上がっておりますし、その時に専門部会から各4町それぞれの担当者までおろしまして事務事業の現状と課題について全部調べ上げております。その後もう一

度年数が少し経っておりますので見直しをかせさせていただきますこの研修会に出させていただきますかなという計画を持っております。この点等につきましては、この研究会のほうから指示を出していただいて、それから幹事会を開きまして幹事会から専門部会におろしてその事務事業の現状と課題をもう一度洗いなおして、また研究会の方まで上げさせていただきます、いろいろと議論をしていこうかなと思っております。それから、3番目が2町の財政シュミレーションということで向う10年先程度ということで両町とも12月に住民対話集会を開催いたして向う10年間までの財政シュミレーションを住民対話集会で説明させていただきます。しかし、14年度の決算見込みもそろそろ出てくる時期でございますし、また、15年度の当初予算につきましても2町とも3月定例議会が終了いたしまして新年度予算が成立をいたしておりますのでそういう関係等修正させていただきます、もう一度向う10年間の財政シュミレーションを作っていこうということで、今度幹事会までおろしていこうかなというようなことで考えさせていただきます。それからもうひとつは、4番目でございます。少しは、この関係につきましてはこの前の研修会でも紹介をいただきました。また、愛知川町の藤田委員、それから秦荘町の宇野委員、それから秦荘町の各委員の方から先進地視察の関係についてということで同規模の2町合併でそういう事例がありましたら提出してほしいというようなことがありました。この点につきましては資料を別につけさせていただきます。開けていただきたいと思っております。合併協議会資料というようなことで4つの団体の事例をあげさせていただきます。一番下のほうが参考として秦荘町、愛知川町の人口規模等をのせております。一番最初にあげておりますのが山梨県の南部町と富沢町でございます。人口規模が10,863人ということで、面積は相当大きいということでございます。これは、任意協議会、法定協議会を経まして合併の告示が15年2月3日ということで、合併施行は15年3月1日ということですので、既に合併されております。それから、2番目は、和歌山県の南部町と南部川村でございます。人口は、14,734人ということで、これも面積的には相当大きいところでございます。任意の合併協議会、法定協議会を経まして平成17年3月31日を目標に合併に今取り組んでおられています。この和歌山県の南部町も、この上の山梨県の南部町へ視察に行かれているようなことでございます。それから3番目が愛媛県。これは、内子町と五十崎町でございます。17,432人の規模でございます。法定協議会が今年の9月1日に設置されております。それから、もう一つが熊本県でございます。中央町と砥用町この合併協議会ということで人口規模12,969人ということで法定が今年の7月1日に設置をされております。このようなことで、以降それぞれの合併協議会の情報等、一番多いのが山梨県の関係資料が一番たくさん入っておるわけですが、それぞれの合併協議会の協議会だより啓発の広報誌が出ておりますが全部つけさせていただきます

ております。そのようなことで4つの合併協議会をあげさせていただいております。中身は、省略させていただきましても、そのようなことで新年度予算の反映もごさいますのでできましたらここでいろいろと意見交換も出していただいて今回の研究会でどこへ視察に出させていただくか、あるいはもう行かないか、その辺をできれば今日の研究会で決めていただければと、また次の予算の旅費等の関係もごさいますし、また相手の都合もごさいますし、夏・秋ぐらいに研修をさせていただくのはもう遅かなと思っておりますし、選挙後5月・6月によさせていただくのが一番よいのかなと思っておりますと今回の研究会でそのへんを議論していただいて決めていただければよいと思っております。それから5番目のごさいます。5番目は、2町合併の必要性、それから効果と課題ということであげております。これは、会長のほうから口頭で聞かせていただいておりますのであげさせていただきます。愛知郡4町の取り組みということで現在、今年度あげておりますけれども、愛東町・湖東町が八日市市圏域の合併を望んでおられるというような状況でございます。この2町合併でどのような新しいまちづくりをしていくのかと、また両町の歴史や文化を活かした、またより一層の住民サービスの向上を図っていくのか。そのような合併に向けての必要性と効果、また課題についてはどのような課題があってそれをどのように払拭をしていくかということについての議論がやはり必要でないかという意見をいただいております。そのようなことで5番にあげさせていただいております。それから6番目がいろんな必要性、メリットあるいは2町の新しいまちづくり構想等合併の講演会シンポジウムを開催して住民に周知啓発をしていくというようなことごさいます。7番目にあげておりますのが住民アンケートの実施でございます。これは、今言いました2町の新しいまちづくりについて住民の方々がどのようなまちづくりを望んでおられるかということについてのアンケート調査の実施でございます。それから8番目でございます。これは、重点支援地域の指定要請の協議ということでこの前から継続審議ということになってございまして、次回以降再協議をさせていただくようなことで考えさせていただいております。それから、今までの1番から8番までのことがまとまってくると、次法定協議会というようなことになってきていいと思います。法定協議会を立ち上げる前におきまして研究会のほうで、9番10番11番につきましては、当研究会でそれまでに協議をしておく必要があるのではないか、というようなことであげさせていただいております。それから参考でございますけれども5ページでございます。これは、両町の定例会が終わりまして新年度予算が成立いたしましたので、普通会計の予算についてあげさせていただきます。それから6ページでございますけれども、これも15年度の予算、それぞれ基金の積立の取り崩しがあるわけでございます。それを差し引きさせていただいて、15年度末の基金積立金の現在高の見込み額をあげさせていただいております。それから、7ページ8ページでございますけれども、これは、平成13年

度の決算の普通会計の決算の状況でございます、これは財政の方で決算統計をされているわけですが、それがまとまったものがございましたので、参考につけさせていただいております。両町の決算の収支あるいは決算の分析指数、それから人件費、町税の科目別状況等左側が秦荘町で右側が愛知川町で対比できるようにあげさせております。8ページは、決算等の収入支出の状況でございます。それから、9ページがこの13年度末の基金現在高の状況でございます。10ページが有価証券あるいは出資金等による状況でこれも13年度末でございます。11ページが公有財産の状況でございます。財産の話がございましたので決算書から基づきまして13年度末の公有財産の状況につきまして列挙させていただいております。以上のようなことでございまして、いろいろとご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

平元議長 はい、ありがとうございます。ただいま事務局のほうから今後の取り組み事項案につきまして11項目をご説明申し上げましたが、委員のみなさまがたからご質問はございませんでしょうか。それではまず、先程来もご説明を申し上げておりますが、の先進地現地研修をするかしないか。するのであればどこにするのか、こういったことについてまずご協議をいただきたいと思っておりますのでご意見等ございましたらよろしくお願い致します。暑うございますので上着をおとりいただいてご意見をいただきたいと思っております。ご意見ございませんか。はいどうぞ。

辻野委員 先進地ですが、私が思うのは、面積規模が似たようなところが非常に少ないと思っております。やはり、人口規模的なところでいろいろお考えいただくと財政等いろいろもろもろが比較しやすいかなと、勉強にはなりやすいのかなというふうに思うのですが。

平元議長 ただいま辻野委員より面積規模というより人口規模によって財政の利用状況等々わかりやすいそういったご意見でございました。ほかにございませんでしょうか。はい、宇野委員どうぞ。

宇野委員 前回の時に類似市町村ということで今事務局が発表されましたように4町あげていただいたんですけど、今辻野委員が言われましたように面積が大変大きく、目を通したんですけど山間部が多く片寄った2町の合併とか、第1次産業が多くて第2次第3次産業が少なく産業構造割合が多少4町によって違うところがあると思っております。そのなかで、人口規模で比較していくには、やはりうちの19,455人類似市町村なら愛媛県の内子町と五十崎町が該当すると思われんですけど、その中でこまかいことはあまり、熊本まで行けいわれてもちょっと遠いですし、この2町に比べて面積規模が、土地のどのような事情で2町が一緒になったか、このなかで読み取れなかった。ただ、結果だけがなっていてなぜこういううちみたいな事情でなかったか、もう一度わからなかったわけで、行き先を4町の中で選べといわれたら、ぼくは内子町と五十崎町だと思いますけど。もう少し、その、例えば極端なことを

言いますと九州熊本県のこの場合宇城東部と書いていけば、単純に考えれば南部も西部も北部もあるのではないかと思います。それは、阿蘇山脈が通っていて、想像するだけですけれど地域的な事情があると思うんです。できるだけ、産業構造割合とか人口規模によってそこまで求めよというのは、詳しくわからないですけれども4町のなかでしたら愛媛県がいいのではないかと思いますけれど。

平元議長 はい、ありがとうございました。ほかにご意見ございませんか。

辻野委員 はい、宇野委員、実は私内子町も五十崎町も四国におったのでよく知ってる町なのです。山間部といわれてもそんなに。

宇野委員 山間部というのは、南部町・富沢町を指して言ってるんですけど。

辻野委員 なんといいですか内子町というのは昔、和ろうそく、ろうをとられてそれで財をなされた。これも資料があると思いますが静かな町で。五十崎町は隣町で結構有名な、八日市市の風じゃないですが、風あげの風に刃物がついているんです。それで、風あげの糸きりをやって競うお祭りをやっています。ここにも大きな愛知川が流れているように、五十崎川でしたか？ありまして、都会的というか、秦荘町さんにちょっと似たところがあるのかなと思いはするのですが。だから、簡単に言えばそういうまちです。知ったことを紹介させていただきます。

宇野委員 ただ、4つの協議会ともどこも先進地研修というものをやっています。行くか行かないかより、行ってマイナスになるということわないと思います。必ず何かの形で勉強して帰ってこられると思うんです。今言われましたように、各町の事情は正直よくもわかりませんが。

平元議長 はい、ありがとうございます。ほかにご意見ありませんでしょうか。はい、それでは先程来ご意見をいただいておりますが、なかなか秦荘町・愛知川町とほんとうによく似た類似団体というのはなかなかないと思いますし、今日まで合併をされた、またされるであろう町村。先進地、合併の取り組みの視察は必要であろうと、こういったご意見等ございますし、また先進地を視察していくそういった経緯もあるわけですし、直接聞きたいあるいは見たい、いろいろと研修が意義深いのではないかと、こういったご意見でございます。したがって、研修会を実施するという点においてご異議ございませんでしょうか。

全員 異議なし。

平元議長 はい。ありがとうございます。それでは、先程来お話をいただいておりますとおり愛媛県の、場所もそうないと思いますので愛媛県ということによろしゅうございますか。

全員 異議なし。

平元議長 はい。ありがとうございます。それでは、一番の先進地視察現地研修については、愛媛県を視察させていただくということでございます。また、時期等につきましては事務局等々でいろいろと協議させていただきたいと思っております。それではほ

かに、先程事務局からご説明がございました今後の取り組み事項、4番以外につきましてご質問、ご意見ございませんでしょうか。それでは、いまのところ、ご意見がないようでございますので、1番目の広報啓発活動につきましては事務局の説明がございましたように年間10回程度、4月下旬を第1回として月1回程度年間10回、こういったことで進めてまいりたいとこのように思います。また、2番目につきましては、平成13年の4町合併研究会で洗い出し等々はさせていただいておるわけですが、もう一度幹事会で精査をさせていただいて、そしてこの2番目の課題につきましては、ご提出を申し上げたいとこのように思っております。また、3番目の2町の財政シュミレーションにつきましても新年度予算をご決定いただきましたし、また14年度の決算見込みも概ね決まってくる、そういったことで、そのへんを含めまして財政シュミレーションさせていただきたいと存じます。4番目につきましては先程ご決定いただいたとおりでございます。また、5番6番につきましては、いわゆる重要な案件でございます、これもいろいろな形で十分な議論をさせていただきながら住民のみなさまに説明できるようにして、そのようにさせていただき、また、6番目の講演会等開催しながら住民のみなさまに啓発させていただきたい、こういった考えを持たせていただいております。7番目につきましては、その経過の中でアンケートをどのようにさせていただくか、またいろいろ詰めさせていただければありがたいとこのように思っております。8番目以降につきましては次回以降の協議でいろいろと詰めてまいりたいという考えでございますので、そういった考え方でよろしゅうございますでしょうか。

全員 異議なし。

平元議長 ありがとうございます。それでは、今後の取り組み事項につきましてはそういった考えをもとに、幹事会等で詰めさせるもの等々につきましてまた指示を出してまいりたいと思っておりますのでよろしくごお願い申し上げたいと存じます。それでは、ただいまの取り組み事項につきましては、よろしゅうございますか。

全員 異議なし。

平元議長 はい。ありがとうございます。それでは5番目のその他、事務局より何かありますか。

5.その他事項

細江課長 その他事項ということでひとつお計りをさせていただきたいことがございます。4月1日から新しく合併研究会の事務局を設置させていただくことになりました。この研究会の会長さん1人、それから副会長さん3名の選出をしていただいたところでございます。研究会に提出させていただく議案、あるいはいろんな案件等についても決裁等は、全部会長・副会長さんに決裁をいただいているところであり

ます。事務局からのお願いでございますが予算執行におけます収入関係あるいは支出関係、その決裁のほうにつきましては、会長それから北川副会長の2名の決裁だけでお願いできないかなと思っております。今後の支払い、いろんな消耗品、紙から何もかもですけれども、そういう支払いも全部4名の会長、副会長の決裁をいただかなければいけない、というようなことになっておりますので、省略をさせていただいて両町長だけということで、あとの議案関係は全部今まで通りということで、事務処理の支払いの関係だけはそのような形でお願いできないかなと、ご提案させていただきましたのでよろしく申し上げます。

平元議長　　ただいま、事務局のほうからご提案ご相談申し上げます支払い関係等で、事務処理に基づくものにつきましては、両町の町長の決裁でお願いしたいといったことでございますが、いかがさせていただいたらよろしいかお計りいたします。

全員　　結構でございます。異議なし。

平元議長　　事務局提案で執行させていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。ほかに委員のみなさまの方からございませんでしょうか。何でも結構でございます。

水野委員　　今の視察の件ですが、早いこと日程をきめていただきたいと思いますのでよろしく申し上げます。

平元議長　　ありがとうございます。先程の先進地の視察研修等でございますが日程については、事務局の方の考え方は何かございますか。

細江課長　　今のところ相手がありますのでいつ頃ということは決めさせていただいてないわけですが。先にもう一つの案件について、いつもですとこのあと次回の日程をあげさせていただいております。けれど今回については、書いてございません。少し会長とも相談させていただいてたんですけど、なかなか合併研究会のほうで2町合併について新しいまちづくり、どのような構想をもって、また財政支援をどのように活用しながら作っていくかというようなこと等も含めましてなかなか研究会では意見が出にくいなと思っております。次回は非公開方式で委員の方々からフリートークでざっくばらんに意見を出していただこうかなということを考えております。本来ですと視察に行ってからしたほうがいろいろな意見がでるかなと思っております。次回、そのようなことで少し考えさせていただいておりますのと、次回の日程でございますが、県議会それから町長選挙が控えておりまして、なかなか何日ということが決めにくいというふうに思います。また、4月13日が投票日でございますので新年度に入ってから自治会長会等いろいろな会議がございますし、そういう関係で日が決めにくくなっておりますので、できるだけ議会の事務局長あるいは、総務課長と調整させていただきながら早めに決めさせていただきたいなというようなところでございます。また、視察の研修日につきましてもできるだけ早めの日程で調整させていただき事前に連絡をさせていただくということで考えさせていただいております。次回の関係につきましても、ご意見をいただきたいと思います

のでよろしくお願ひ致します。

平元議長 はい、ありがとうございます。それではただいま事務局からご提案申し上げました視察の日程、あるいはまた、次回の日程につきましていろいろご意見を併せて拝聴させていただきたいと思ひます。

細江課長 それから、先程取り組み事項で説明させていただきまして、次回開催させていただくまでに1ヶ月近くありますが、先程申し上げさせていただきました項目の中の財政シュミレーション、それから事務事業の現状と課題であります、それまでにできましたら、出来たものから順番に出させていっていろいろな議論の資料とさせていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

平元議長 はい、それでは議会関係の日程等々でございますし、行政関係の日程あるいはまた選挙を含んだ政治日程等もございますので、これは事務局を通じて両町の議会のみなさんまた行政関係の調整をさせていただいて視察の日程を含めて、次回の会議も含めて私どもお預けをいただけたら、このように思ひますのでよろしくお願ひしたいと存じます。それではここで、暫時休憩をさせていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

休憩

平元議長 それでは、会議を再開させていただきたいと思ひます。先程来その他の案件でいろいろご協議をさせていただきましたがそれにつきまして委員のみなさまから何かご発言等ございませんでしょうか。はい竹中委員どうぞ。

竹中委員 先程の研修の視察ですがこれには異議ございませんで、大賛成でございます。ただ一点ちょっと、私も資料不足で、この四国の愛媛県ですが昨年の9月に重点支援地域の指定となったところですね。上から見ると合併の告示とかしているところがありますね。南部町・富沢町にしてもね。こんな言い方して悪いですが、告示をしてないところは分解する可能性もないとはいへませんでね。相手さんのことをちょっと失礼な言い方になるかもしれませんが、この、合併とかの告示をしているところはまちがないと思ひますが。私の意見はみんなが一度に行かずに、できれば2班に分かれて南部町・富沢町と内子町・五十崎町に行く案もひとつ考えられないかな。内子町・五十崎町へよせてもらっても、空中分解していたらなにもならない。秦荘町と愛知川町といい方向で進めているのに空中分解したところへ行ってもだめですね。2班ぐらいに分かれて、同じ勉強するならそのような方法は、どうですか。これは提案でございます。

平元議長 はい、ありがとうございます。ただいま、大変貴重な提案をいただきまして、これにつきまして何かご意見ございませんか。ないようでございますので、そのへんも念頭にいれてどういう視察研修が望ましいかいろいろと考えてまいりたいとこ

のように思います。これは、正副会長でお受けさせていただくというよりも、みなさまのいろんな意見を参考にさせていただいてどのような研修にするかということで、またいろいろと本日以降で結構でございますので事務局に意見等があればご申しつけたいと思います。ほかに、ご意見ございませんでしょうか。

上田副会長 今程も視察研修についてのご意見が出たわけでございますけれども、2班に分かれて行くにせよ、全員が行くにせよ会議のメンバーとしましては町長、助役、総務課長等すべて重要なポストにある方が役場をあけるといっても少し不安もございましてできれば研修会につきましては、第何回という正式な会議ということでなしに事前研修という形でおこなっていただければどうかと思いますけれどもどうでしょうか。

水野委員 事務局として検討していただいて、事務局のなかで日程等検討してもらったらどうですか。

平元議長 ありがとうございます。ただいま上田副会長のほうから研修会につきましては、行政関係から三役あるいはまた総務課長等全員がぬけるのはいかがなものか。こういったご提案もございまして、その辺は内部で十分調整してはどうかと、こういった提案もございまして。事務局サイドで十分検討していただいて日程等の調整をしていただくというようなことでよろしいでしょうか。

全員 結構です。

平元議長 ありがとうございます。ほかにございませんか。辻野委員いかがですか。ほかは、ございませんか。それでは、ないようでございますので、本日第4回の研究会を終わらせていただきたいと思います。また、以前からも申し上げておりますとおり4月1日付けをもちまして両町合併研究会の事務局を愛知川町役場の3階に正職4名体制でスタートさせていただきたいとこのように思っておるわけでございます。したがって、いろいろご意見等ございましたらどんなご意見でも結構ですので、どしどし次の会議までにおよせいただければたいへんありがたいと、このように思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。本日の議事をすべて終わらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

全員 ごくろうさまでした。

6.閉会あいさつ

西川課長 ありがとうございます。それでは、最後に閉会のご挨拶を愛知川町森副会長さんよろしく申し上げます。

森副会長 閉会にあたりまして一言ごく簡単にお礼のご挨拶をさせていただきます。この第4回の両町の合併研究会ですが、本日はお見合いに例えるならば、ほんとの婚約はしようという口約束はあったけど、正式なお見合いは、今日だったということ

で、少し議論の内容は遠慮がちなところが両町にあったような気がします。しかし、これからは本気で本当の濃密な恋愛関係に入っていくということでございますので、どうかこれから会う頻度も多くそしてまた中身の濃い内容で議論等していただきたいと思いますので、そのことを切にお願いして閉会の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

全員 ありがとうございました。